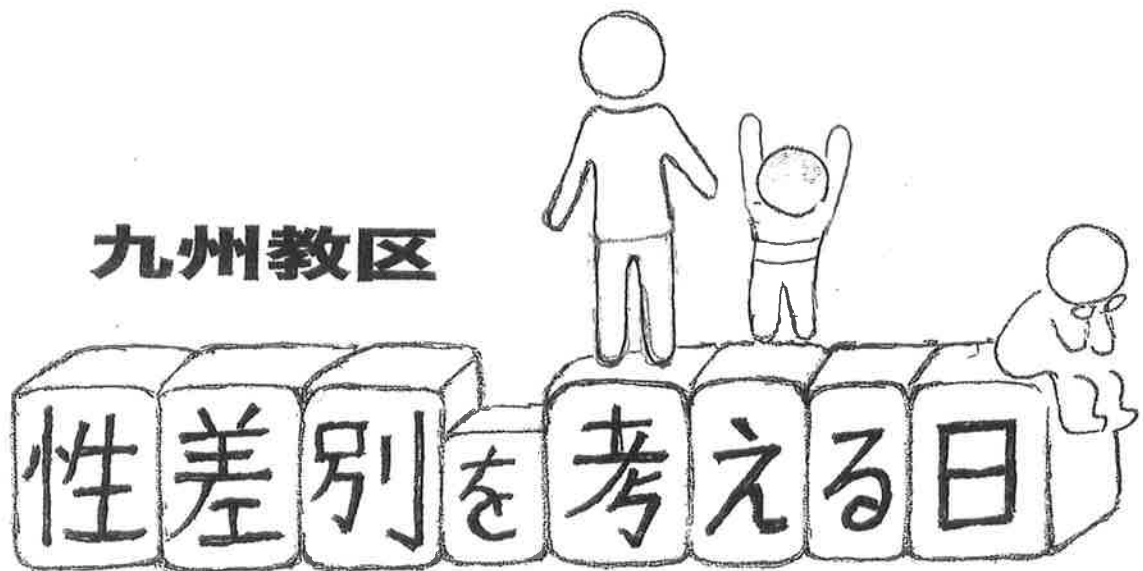


 2022年度「性差別を考える日」リーフレット

2023年 1月22日(日)は。



差別などあるはずがない（と思っている）教会で、私たちは気づかないうちに
「女性はこうあるべき」「男性はこうあるべき」を
押し付けられていませんか？逆に押し付けてはいませんか？
教会にもある「ジェンダーバイアス」について考え、気づき、
自らを変えるための行動を起こしてみませんか？

九州教区「性差別を考える日」毎年1月第4日曜日

日本基督教団九州教区事務所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目7-7（九州キリスト教会館内）

電話 092-712-6678

九州教区『性差別を考える日』について



日常の何気ない言葉や行動で、不快な思いをさせてたなんて・・・

性差別っていうけど・・・どうということ?

性差別はとっても身近なところで、しかも無意識のうちに行っています。

「教会」には性差別はないのでしょうか?

でも、**牧師によるセクシュアル・ハラスメント**は起きたのです。

「まさか、教会で? しかも牧師が? ありえない」という思いの中で、加害者を守り、被害者をさらに傷つける二次被害を起こしてしまいました。

このことは、**教会内における性差別が根深い**ことを物語っています。



～さらに深めるために～

あなたの中の“無意識の思い込みや偏見”を探ってみませんか？
みなさんそれぞれチェックしてみましょう。

教会におけるジェンダーバイアスチェック

- * 会場設営など力仕事は男性、花を飾ったりは女性が良いと思う。
- * 来客時にお茶を出したり花束を贈呈するのは、女性の方が良いと思う。
- * 女性の役員が少ないのは、女性にやる気がないからだと思う。
- * 役員（執事）は責任が重いので、男性にやってもらう方が良いと思う。
- * プレゼントは女子にはピンクの可愛いもの、男子には青や黒のかっこいいものを選ぶ。
- * 夫妻で牧師の場合、主任担任は男性の方がふさわしいと思う。
- * 未婚の人に「結婚しないの？」と聞いたり、結婚したばかりの女性に「早くお子さんできるといいね」と言うことがある。

「ジェンダー」とは

歴史的、文化的、社会的に形成される男女の差異
男女の役割などで区別される性別のこと

例：家事や育児は女性

働いて家族を養うのは男性

「ジェンダーバイアス」とは

無意識のうちに性差や男女の役割について、
“男らしさ”“女らしさ”という枠の中で
“そうあるべき”という

固定的な思い込みや偏見を持つこと。

例：「男のくせに泣くな！！」

「女性はやっぱり気が利くね」

「男が率先してやるべき」

「女性がトラック運転手？」



自分のジェンダー・バイアスに気づかずにいると、相手を傷つけたり、仕事や進路の選択を狭めるなど、性差別につながる可能性があります。

性差別、ジェンダー、セクシュアル・ハラスメントに関する本の紹介



王さまと王さま リンダ・ハーン/スターン・ナイランド 文と絵

アンドレア・ゲルマー 眞野豊 訳 ポット出版

いろいろななかぞくのほん メアリ・ホフマン文/ロス・アスクイス絵 すきもと えみ 訳

少年写真新聞社

女どうして子どもを産むことにしました 東 小雪/増原裕子 著 すぎやま えみこ 漫画

コミックシーモア

13歳から知っておきたい LGBT アシュリー・マーデル著 瀬川綾子 訳 ダイアモンド社

あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる 平良愛香 著 Gakken

虹は私達の間 山口里子 著 新教出版社

ジェンダーで学ぶ宗教学 田中雅一 川橋範子 著 世界思想社

ここからセクハラ! 牟田和恵 著 集英社

良かれと思ってやったのに 清田隆之 著 晶文社

ジェンダー秩序 新装版 江原由美子 著 勁草書房

～性差別問題について、さらに理解を深めたい人のために～

九州教区伝道センター平和・人権部門は、各地区で性差別問題学習会を開催しています。

セクシュアル・ハラスメント学習会への講師派遣についても、随時受け付けています。

参加者が少なくても構いません。ご遠慮なく平和・人権部門までご連絡下さい。

2019年5月の教区総会において、セクシュアル・ハラスメント対策研修会を今後3期(2019年度～2024年度)のうちに全地区で開催することが決まりました。

コロナ禍で集まることが難しくなっていますが、オンラインを併用しながら、研修会を進めています。各地区で行われる対面、ZOOMでの研修会に参加し、ご一緒に学びを深めていきましょう。